

今の三ツ森ため池 三ツ森ため池は、一九三九年（昭和十四年）に県の仕事として完成しましたが、水路がいたみだしたり、取水量がすくなかったり、水もれや、大雨のとき、えんていから水が流れ出すようになったので、全ぶ修理して、使いやすくするため、の工事がすめられました。一九七四年（昭和四十九年）から、七年間にわたって、なおしました。そのひ用は、三億八千九百八拾万円もかかりました。こんな大きな仕事をするときは、県や国からもお金のほじよがあつて工事がおこなわれていきます。

今の三ツ森ため池は、ほ場せいび（米づくりの仕事をしやすくするため、大がた機械を入れやすいように、田んぼの形をなおすこと）が、おわたつたところに、水路をつくり、かんがいしやすいようにして利用されています。それで農家の人びとが、安心して米づくりができるようになりました。



（改修された三ツ森ため池）



（新しくなった取入口）